

ハナゼキショウ

Tofieldia nuda Maxim.

ユリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県では産地がきわめて限定されている。(現況:RO)

形態

石川県では、他のチシマゼキショウ属の植物が、いずれも亜高山帯・亜高山帯に生育するのにたいして、本種は山地帯の岩石上に生育する点で異なる。根出葉は線形で5~25cm、葉縁には突起がなく、葉先は尖る。花茎は10~30cm、2、3個の小葉が着く。総状花序に白色の花が多数着く。花は苞に1個ずつ着き、花柄は長く5~10mm、花よりも長いのが本種の特徴である。花被片は3~4mmで線状楕円形、雄蕊は花被片よりやや長く淡紫色、蒴果は卵状楕円形で花被片よりやや長い。植物体には腺状突起はなく、粘らない。

国内分布

本州(関東以西)、九州。日本特産。

県内分布

南加賀区のうち、白山山系の峡谷に限って分布。

生態など

多年生草本。花期は7~8月。

生育環境

山地帯の峡谷の崖面。

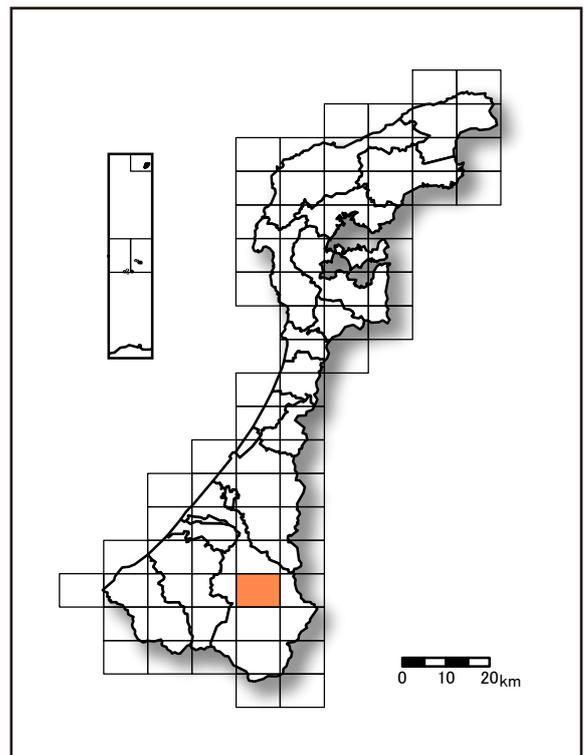
危険要因

園芸採取、崖崩れなどの地表変動、自然遷移。

特記事項

今回の調査では、富山県で報告されているゲイビゼキショウ *Tofieldia coccinea* var. *geibiensis* (M.Kikuchi) H.Haraに類似した種類の分布が確認されたが検討中である。

写真(図)はありません。



県内の分布